

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：

事業所名：放課後等デイサービス 児童発達支援放課後等デイサービスほめてこ狭山ヶ丘教 対象人数（保護者）39人 回答者数 29人 回収率 74.4%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3	1
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	3	
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	5	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	3	
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	3	
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	1	
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	3	
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	5	
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	4	
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	14	4
保護者 への 説明等	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	3	
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1	
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28	1	
	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	25	4	
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	3	
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	4	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	10	4
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	4	
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27	2	
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	1	
非常 時等 の 対応	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1	
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	5	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	5	
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2	1
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	4	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	26	3	
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	27	2	

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 7 年 3 月 7 日

事業所名 ほめてこ狭山ヶ丘教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	○			・運動するスペースと学習等行うスペースが分かると更に 良い ・教室にあった利用定員で支援している ・運動・静かな活動を行うスペースを分けている
	②	職員の配置数は適切である	○			・児童数に対して適切な人数を配慮している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている		○		・入居時よりバリアフリーの構造となっていない ・洗面所の段差、トイレ、玄関等手すりの配慮が必要と感じ る
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画 している	○			・ミーティング時などに共有している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	○			・評価表や面談時に保護者の意向を把握して反映している ・保護者向け評価表を活用するアンケートは実施していない が保護者の意向等は個別面談などで把握している ・HPに掲載している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	○			・HPにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている		○		・外部評価を行っているかわからない ・外部評価は行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	○			・社内外での研修に参加している
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	○			・面談時に確認しながら作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・担当者を決めて行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	○			・児童が楽しく活動できるように工夫している ・行事、季節を取り入れ、工作や静かな活動を行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	○			・長期休暇中は外活動や交流の場を増やしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせて放課後等デイサービス 計画を作成している	○			・外活動の時は、職員が1対1対で対応する事もあるが、 基本的に活動は集団で行う
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	○			・毎日14:00に朝礼を行い、利用児童についての話し合い、 情報共有を行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	○			・終礼で活動中の気づいたことや児童の気になる様子を報 告し合い情報共有を行っている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			・個人の活動記録の記入を行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	○			・六か月に一度モニタリングを行い、見直ししている ・相談支援員のモニタリングや聞き取りなどを行い見直しをし ている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
関係機関や保護者との連携	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			・管理者・児童発達支援管理者が参加している
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			・学校や保護者を通して行っている
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		・該当なし ・現在医療ケア児は受け入れていない
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		・他施設とは直接連絡はとっていない。保護者と情報共有
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			○	・分からない
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	・ないので今後増やしていきたい
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		・市の連絡会に参加している ・主に管理者が参加している
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			・HUGや送迎時に保護者へその日の様子をお伝えしている
保護者への説明責任等	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		・面談などで相談があった際は保護者にアドバイスやどうしていくかを話しあっている
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			・契約時に伝えている ・契約時と変更時に行っている
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・電話やHUGを用いて行っている
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・父母会なども計画、実施したが参加する保護者が少なく今は実施していない ・保護会は来年度開催予定
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・苦情があった場合はすぐに管理者へ報告し対応している ・迅速に対応する様に心がけている ・有事の際には管理者へ報告。管理者が対応している
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			・教室ごとのHPに活動内容や職員の紹介など載せている ・月のイベントなどの予定を各ご家庭に配布している ・ブログにて日々の様子を発信している ・毎月通信を発行している

		チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	改善目標・工夫している点
	③⑤	個人情報に十分注意している	○			・個人ファイル持ち出し禁止 ・鍵のかかるキャビネットにて保管している
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている			○	
非常時 等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	○			・保護者には周知できていない ・マニュアルは教室に常設している
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	○			・毎年避難・消火・通報訓練を行っている ・避難用バッグを用意し、有事の際に持ち出せるようになっ ている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	○			・教室ミーティングにて周知・共有・話し合いをしている ・外部・内部研修共に行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	○			・やむを得ず行う場合は十分に説明し、 計画書に記載している
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	○			・お菓子の箱に記載したり、配慮している ・保護者より聞き取り対応している
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	○			・ヒヤリハットを作成 ・常に共有できるようにしている ・出勤時に確認 ・職員間で共有している